



# カレイ



かれんと いんぷおめ〜しょん

2002. 4. 10 発行 : No. 36

TEL 03 - 3985 - 2902

立教大学図書館

## 目 次

学系図書館そろい踏み、そして本館	p 1
<特集> 人文科学系図書館が開館します	p 2 ~ 3
<図書館ニュース Part 1 >	p 3
4月からの開館日・開館時間のお知らせ	
<図書館ニュース Part 2 >	p 4
図書館ビデオ資料の利用と著作権との関わり	
<図書館ニュース Part 3 >	p 4
乱歩<幻影城>探偵団	

## 学系図書館そろい踏み、そして本館

図書館長 千石 英世

図書館は、この4月より池袋キャンパスにおいて、“本館プラス3学系図書館”の体制が整います(というより、整いました、かもしれません、このカレイが出ている頃は)。

3学系、すなわち、人文科学系、社会科学系、自然科学系の各学系図書館は研究図書館とし

て、一方、本館は学習図書館として、というふうにそれぞれに一応の位置付けは与えられているのですが、むろん立教大生ならだれもが、どの図書館も利用できます。で、さて、この話はその先があります。実は開館時間も一新！ なのです。

日曜もやってる館があります。平日の夜、10時半までやってる館があります。この4月、立教大学では、夜間開講の大学院が発足します(しました)。ということとも関連して、図書館としてこの方針を打ち出したのだということもありますが、学部学生にも既設大学院の院生にも、新方針の果実をたっぷり楽しんでほしい！ ということなのです。

授業、バイト、サークル、どれも大事にして頑張るのが立教大生の平均的なすがたでしょうが、そこに“常時・図書館する”を付け加えてはどうでしょうか。読書し、読書ノートを採ることを人生初期の終末期(青春期のことです)の大事な仕事の一つとして、それも、授業、バイト、サークルとは特に関連しない、つまり独立自尊の行為として付け加えてはどうでしょうか。

世界と社会と自己一個のかかえている問題にみずから思索をめぐらし、ひとの意見に耳を傾けつつ、自分なりの意見をコツコツと造形して行くのに、図書館は少しは使えると思うのですが...、使いきってください。

開館日程等については図書館のホームページでご案内しております。

(URLは、<http://opac.Rikkyo.ac.jp>)

その他変更がある場合はその都度、掲示でお知らせします。

## 人文科学系図書館が開館します！

2002年4月11日、人文科学系図書館が開館します。これまで6号館の各フロアに点在していた文学部各学科の読書室および研究室から、16号館1-3階および6号館1階・5階に図書を集めてオープンいたします。入り口は2箇所となり、16号館および6号館1階の図書は6号館1階から、6号館5階部分の図書は6号館5階から、それぞれ入館して利用してください。

なお、9号館の心理学科読書室は、昨年秋から人文科学系図書館心理学科分室としてスタートしていますが、今年度から開室時間が長くなります。

## 開館時間

次のページの表をご覧ください。

## 貸出案内

## 1. 一般図書の貸出冊数と期間

教職員	200冊 / 3ヶ月
非常勤講師	10冊 / 1ヶ月
大学院生(後期)	30冊 / 2ヶ月
大学院生(前期)	10冊 / 2ヶ月
学部学生	3冊 / 1週間

他の利用者から予約が入っていない図書は、何回でも貸出の更新ができます。

雑誌や参考図書、「禁帯出」のラベルが貼られている図書については、貸出ができません。

論文用の特別貸出も行ないません。詳細は係員にお尋ねください。

## 2. 貸出及び返却方法

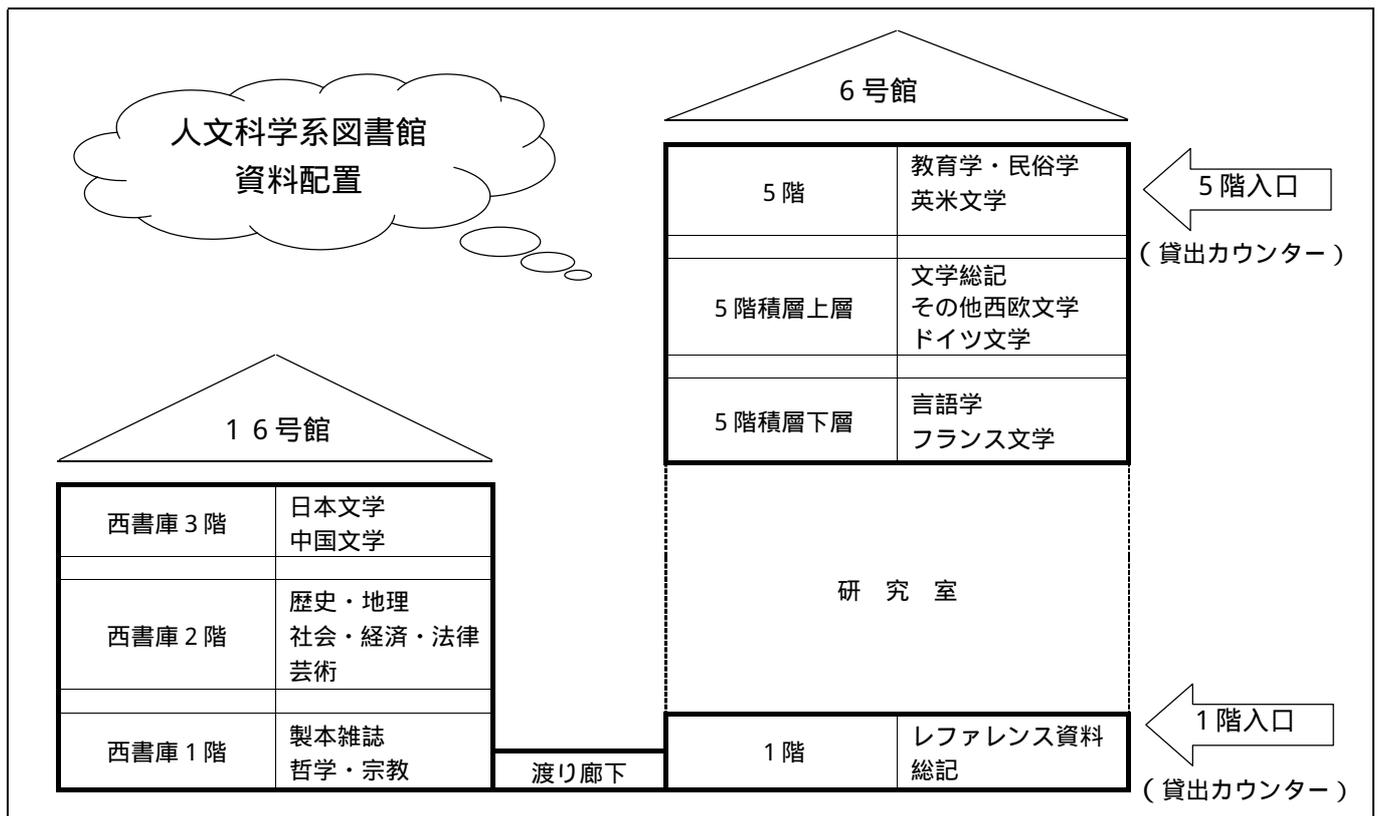
16号館1-3階および6号館1階の図書は6号館1階の貸出カウンターで、6号館5階の図書は6号館5階の貸出カウンターで、それぞれ貸出手続きをしてください。貸出を希望する図書と図書館利用証(学生証または勤務員証)を持って、貸出カウンターへ申し出てください。

返却が期限を過ぎると、遅れた日数分だけ貸出ができなくなりますので、貸出期限を守ってください。

## 3. 貸出中の図書の予約について

人文科学系図書館では、貸出に際して1週間の「優先利用期間」を設定します。他の利用者が借り出している図書はOPACで「貸出中」と表示されますが、その図書を利用したい場合は貸出カウンターに申し出て予約をしてください。

学部学生の貸出期間は1週間ですので、自分の借りている図書を他の利用者が予約しても、貸出期限が短くなることはありません。ただし、予約が入っている図書は貸出の更新ができません。大学院生や教職員(貸出期間が1週間よりも長い利用者)が借りている図書に予約が入ると、借りた日から1週間の「優先利用期間」が経過したら一旦図書を返却していただき、予約した利用者に貸出をします。



## 図書館ニュース Part1

### 4月からの開館日・開館時間のお知らせ

2000年度からはじまった大学内図書館の各学部図書室の整備統合や新設建物への引越しも、2002年4月の人文科学系図書館の開館をもって一区切りができました。

これに伴い、図書館の開館日や開館時間が以下のように変更されましたのでお知らせいたします。この移転および整備期間中、利用者の方々には、大変ご不便やご迷惑をおかけしましたが、開館日数の増加や開館時間の延長などにより一層利用しやすくなりましたので、どうぞご利用ください。

なお、開館時間など各館によって違いがありますので、ご注意ください。

館名	場所	月曜～金曜日	土曜日	日曜・祝日
人文科学系図書館	6号館1階・5階	9:00～22:30	9:00～20:00	13:00～19:00
人文科学系図書館 心理学科分室	9号館2階	9:00～21:00	9:00～17:00	閉館
社会科学系図書館	12号館	9:00～22:30	9:00～20:00	13:00～19:00
自然科学系図書館	4号館2階	9:00～21:00	9:00～17:00	閉館
池袋本館	図書館新館・旧館	9:00～21:00	9:00～20:00	13:00～19:00
メディアライブラリー	7号館2階	9:00～21:00	9:00～17:00	閉館
武蔵野新座図書館	武蔵野新座キャンパス	9:00～22:00	9:00～20:00	13:00～19:00
新座保存書庫		9:00～16:30	9:00～12:30	閉館

\* 閉館日は、毎月最終日曜日、その他大学が定めた日となりますが、長期休暇期間など開館日・開館時間など変則的になる時期があります。図書館掲示板や図書館ホームページなどで確認をしてください。

\* 人文科学系図書館の蔵書は16号館にも置かれますが、16号館から直接は出入りできません。6号館1階からお入りください。

## 図書館ビデオ資料の利用と著作権との関わり

図書館副館長 吉森 正人

7号館2階のメディアライブラリーや武蔵野新座図書館には多くのビデオ資料があり、学生・教職員に広く利用されています。図書館の資料としては紙媒体の資料が大部を占めていますが、IT技術の発達によりビデオをはじめとする映像資料は今後ますます有効なものとして広く活用されるようになって考えられます。

さてビデオ資料の利用に関しては、図書、芸術作品、映画、音楽レコード、テープ、CDそしてコンピュータ・ソフトウェアなどと同様に著作者の権利が守られるように法的な制限が設けられています。特にビデオ資料に関しては著作権との関係がむずかしく、また個人で購入したものと、図書館で購入したもの、さらには授業目的で購入したものとでは許される利用の範囲が異なります。

しかし日本の多くの大学ではこれまでビデオ資料について著作権との関係をあまり意識しないで利用されてきたように感じられます。そこで立教大学では昨年12月に文化庁の著作権問題の専門家を招き、ビデオ資料の利用と著作権との関わりについて研究会をもちました。ここでは図書館における利用の範囲だけでなく、授業や研究における利用についても幅広い議論がなされました。この結果をふまえて立教大学ではビデオ資料が、色々な形で使われていることを考え、全学的にその利用に関してのルール作りの検討がなされており、図書館のビデオ資料についても近く利用方法をお知らせする予定です。

## 乱歩<幻影城>探偵団

文学部教授 渡辺 憲司

ば、ば、僕は少年探偵団。この頃風呂に入るたびにこの歌を口ずさむ。昨年末、6号館隣にある江戸川乱歩邸（元立教大学社会学部教授平井隆太郎教授邸）及びその所蔵品の多くが立教大学に移管されることが決まった。その頃から乱歩を読んで興奮した少年時代の血が妙に騒ぐ。大学は、大変な買い物をした。これは一つの事件に似ている。

推理小説家乱歩関連の資料に貴重なものがあることはもちろんである。私が殊に胸をときめかしているのは、江戸時代の版本・写本類である。江戸川乱歩即ち平井太郎が、岩田準一・南方熊楠等と男色文学に関して書簡を交わしていることはよく知られている。西鶴関係の貴重本の他に、乱歩のみが所蔵した男色関係の典籍や江戸時代初期の遊女評判記の山が土蔵の中には眠っている。秘密の花園がようやく幕を開けようとしている。

正月明け、乱歩の故郷三重県名張市に立ち寄り、市の図書館長の案内で長谷への旧街道側、<幻影城>と刻まれた生誕記念碑を見た。市の図書館では、

乱歩が使っていた帽子・ステッキ・外套、座机・スタンドなども展示され、すぐれた研究成果も公刊されている。名張市民には乱歩への思い入れがある。アメリカの大学の乱歩研究者を平井邸に案内したことがある。新聞報道がされるとすぐにも資料を見たいとメールがあった。近代文学を専攻した日本文学科卒業生からの興奮した電話もあった。江戸文学の研究者は羨望の目を向けている。かつて人呼んで池袋は芸術の巷モンパルナス。若き芸術家たちの巣窟の地でもあった。乱歩がここに居を構えたのもそのことと無関係ではあるまい。再び文芸の火がこの地から燃えさかることを豊島区の区民とも共に喜びたい。

事件は広がっている。立教大学がこの財産をどのように活用し、社会への期待にこたえることが出来るのか。社会還元への大学の責任は重い。

乱歩ワールドへの夢を広げながら、着実にアカデミカルに少年の如くに、学生諸君と<幻影城>を探偵したいものだ。その日は近い。

編集後記 新年度に入り、皆さん忙しい日々を迎えられていることと思います。図書館はようやく学系図書館への移転作業を終えて、快適に使っていただけるようになりました。新しくなった図書館にぜひいらしてください。